

氏名 (学校名)	大屋杏奈(神田外語大学)	国 (希望する体験)	ミャンマー(日本語教育体験)	企画テーマ	日本の魅力を伝える
受入れ先	MOMIJI Japanese Language Centre	期間	8/8~8/18	担当者	村松 愛 先生
日付	体験日誌		日付	体験日誌	
8/7	<p>MOMIJI Japanese Language Centre の村松さんと初の顔合わせで、明日からの勤務の打ち合わせを行いました。人数の集まらなかったクラスがあるなど、当初の予定と変わるところが多あり、焦りましたが今日中に調整をしたいです。時差ボケはまだあり、早い時間に眠ります。今日は自炊をしました。今回楽しめたこと1つだったのですが、料理は生活に余裕があって初めて楽しめるのだと痛感しました。普段と違う環境で、賞味期限などにも気を付けて自分で全て用意しなければならないということもあり、海外で自炊することの厳しさを知りました。長宿の方がお買い物に付き添ってくださり、現地の方のアドバイスももらえてとても助かりました。2日目にしてミャンマー人の暖かさを感じております。</p>		8/14	<p>学校についてのクラスでした。生活にも慣れて来ていい意味でも悪い意味でも肩の力が抜けて来た感じがします。一回きりの授業なので名前を覚えて親しくなったりは難しいと感じます。しかし、一回一回生徒さんの特性を見て考えながら授業を進めていかないといけないと思いました。ここまでずっと笑顔で受け答えをするのは心がけています。うまく話せない生徒さんにも自信を持たせられるような先生になりたいです。今日は2回目のSeichi先生の授業でした。私はほとんど見ていただけでしたが、授業内容が面白くさすがと中学の先生だなと思いました。内容はさすがにゲームで〜からです。次回は私がやるそうなので、先生を見習って面白おかしく会話を楽しみたいですね。</p>	
8/8	<p>今日は初授業でした。事前に準備をしていた甲斐も緊張はあまりせずに進められたと思います。今日1日で、次に活かそうなくさんのことを学べました。今日授業をした方達は、今年か来年から日本で働く方たちで、とても頭も良く勉強熱心でした。日本に行きたい明確な事実があるため、興味を持っていくことも現実的で豊富であったので、二時間はあっという間でした。反省点としては、用意していた内容は30分程度で終わってしまったことがおこしいです。特に、もう少し時間を考えて準備ができた良かったと思います。次は、紙に一枚何分と決めて行くとかわりやすそうです。明日はもっと人数の少ないクラスなので、コミュニケーションを沢山とり、より良いクラスにしていきたいです。</p>		8/15	<p>少し寝不足なのがよくない。今日の前半は生徒さんが二人で、そのことを知らなかったのが、急遽何を考えることになった。しかし、遊びながら体に馴染んでいるものなので、きちんと授業を終えることができた。やはり、熟考できた方がもっとこうしとけばいいと思うので、遊びの方は特に事前の人数把握は大事だと感じる。先生の授業は初めてだったが字も丁寧で理解しやすいものだったと思う。英語の発音だと通じないことも多そうなので、スベルがバツとかけられるようになると良いと思った。言葉学んでいるからわかることもたくさんある。日々受けている授業のことを改めて思い出して記録を残していきたい。</p>	
8/9	<p>今日は昨日の名残で午前中は雨が降っていませんでしたが、午後からはずっと雨だったので道も歩きづらく怪我をしないように気を付けたいと改めて思いました。初めての少人数クラスであり、初めての「日本の遊び」について学ぼうのクラスのクラスでした。初めてにしては、皆さんしっかり理解をして楽しんでくれたので良かったです。しかし、日本語の流暢さによってゲームのうまさが決まってしまうものは、まだ自身のない人にとっては話もなのではないかと心配になりました。同じ、語学を学んでいる身としては、話するのが苦手な方に無理に回答を急がすような行為は苦痛になりかねない、と理解している中で、答え方の例やテンプレートがあれば発言しやすくなるのかなと考えました。例えば、今日は「好きな遊びはなんですか」と質問をしたのですが遊びという単語がわからなかったようで、思っていたのは違う回答が帰ってきてしまいました。なので、人数は多かったので相手の反応を見ながら、ゆっくりと説明できた納得して進めるのではと考えました。</p>		8/16	<p>今日も生徒さんは二人のみでした。その上一人はなんと一回同じ授業を受けたという方でした。同じ内容ばかりにならないように気をつけましたが、しっかりと話を聞いて下さっていたようなので良かったです。二人とも以前授業をした方だったのでまた来て下さったのは本当に嬉しかったです。しかし、リビートするものでもないので、機能上と人数が少ないというのには計算ミスだったと考えています。やはり、3つ授業があった方がもっとお話しもできて良かったのではないかと少し後悔しています。今日の会話のクラスはトシ先生の二回目でした。昨日とは変わって私の方から45分間質問をする形となりました。たくさん質問考えたつもりが一問一答くらいになってしまい、話をうまく広げることができず悔しかった。しかし、結局時間ばかりに終わらせることができたのは一種の才能なのではないかと思いついて、普通の授業でもそれができたらいいのかなと思います。ふと授業早めに終わる先生の方が日本だと人気があると考えた時に、無駄に伸ばさず早めに終わらせて自主的な質問をさせたりする方が双方嬉しいのではと思いつきました。</p>	
8/10	<p>今日は2回目の「日本の学校について学ぼうでした」時間を間違えて30分はやく教室についてしまいましたが、先にきた生徒さんとも話してきて楽しかったです。しかし、今回初めてレベル差というものが顕著に現れて少し心が痛みました。ビルマ語がわからない私は、せっかく話を聞かせて来てくださったも程度程度日本語がわかる人でないと説明もできません。今日来てくださった方で、授業が始まる前「何を一つ一つ聞いてくれるかわからない、帰りたい」と言っていた方がいらしゃいました。他の方が始めて下さったのですが、ずっとつまらなそう顔をしていた、他の人がわかることも意識してしまい説明が下手になってしまったり、気にしすぎて本当にこれで良かったのかと思う授業になってしまいました。また、前回急に休みについての説明を入れて、とても良かったと思ったのに、今回忘れてしまったので失敗したと反省しています。放課後はカレーを買ったが作り方がわからないという話を宿の方にしたら、夕飯作りまで手伝ってくださり本当に嬉しかったです。</p>		8/17	<p>今日は遊びについての最後の授業でした。9人ぐんと聞いていたのですが、結局きたのは4人でした。しかし、皆さんとても飲み込みが早くゲームのルールもすぐに理解してくれてとてもやりやすかったです。ちゃんとゲームができる、みんな楽しかったと言ってくれて嬉しかったです。ゲームでも使う言葉は十分に勉強になると改めて嬉しく思っています。ここで覚えたことをミャンマーの友達とも使ってもらいたいです。</p>	
8/11	<p>今まで一番大きい教室での授業でしたが、一番ゲームがしやすく私の授業に向いていると思います。人数は6人で予想しているよりは多かったです。ちょうど良い人数だったと思います。火曜日の大人数クラスではできないと確信を持って来たので考え直さないと焦っています。今日は、前回やっていたものに2つとも新しいゲームをしました。質問タイムはほぼなかったです。しかし、もっとゲームしたいとみなさん声が上がったので要望に答えられたのではないかと思います。Seichi先生のクラスは、とても明るくアットホームな雰囲気があります。日本人の日本語で話している時もあり、ごく稀に少し難しいのかもかもしれません。そして、難易度に挫折したか人数はとも減ってしまっただけですが、大学と比較するといいかえりやすい、内容もとても面白いので、私も大変気を使ってゆっくり話したりしないで、日本人の日本語をじかに聞かせられる先生がいいなと思います。</p>		8/18	<p>今日は最後の授業でした。悔いのないようにと話すぎた感じはします。どんどん話したいことが増えてきて、最初は30分で終わってプリントがいつの間にか2時間になっていました。質問がいいのか悪いのか、アンケートでもしてみないと分かりません。しかし、質問タイムを設けるなら、しっかりと話を聞かせたり、こちらから質問を考えていたりすることが重要だと感じています。なので、初日のような時間の持たせ方にならないように、はじめの授業をするのしたら、もっと予備の準備が必要だと思いました。今回の授業は、話しばかりになってしまいましたが、話したい話したいと、早くになりやすかったです。最後まで話をすることができました。セイチ先生との授業は本当に授業を受けていただけで、すごく良い経験になったと思います。本当の意味で、教材を使って授業準備をしたのは初めてだったので、見てもらいつつ経験できたのは本当に嬉しかったです。前日と同様に自分で授業準備をしました。昨日の反省を生かし、よりスムーズに授業を進めることができたと思うので良かったです。</p>	
8/13	<p>今日は、2回目の大人数授業でした。いつも授業の30分前につくようにしているのですが、片道15分かかる家に忘れ物をしてしまいとても焦りました。家を出る前に、今日必要なものの確認は大事だと改めて思いました。また、余裕を持って職場に行くことに助けられたので、これからはきちんと時間に余裕を持って動きたいです。大人数のクラスの方たちは返事が大きくとても授業がやりやすいです。生徒さんたちが話を聞いて笑顔になってくれるのがとても嬉しく、やりがいを感じています。しかし、誰がどのくらい理解しているのかはわからないし、後ろの方の人がつまらなそう引いていると、やっぱり気にしてしまいます。なるべく多くの人に楽しんでもらえる授業をもっと作っていきたいです。</p>				
受入れ先担当者のコメント	<p>当校ではじめての短期インターン生受け入れとなり、しかも繁忙期の来校となり、あまりきちんとした対応をしてあげられず、あわただしく過ぎた1週間でも申し訳ないという気持ちです。来校前にメールでのやり取りをし、自分の教えないことについてポスター作成を依頼したところ「日本の大学生活」「日本の遊び、ゲーム」をテーマにしたポスターを作成してくれました。学生たちはそのポスターを見て興味を持ってクラスで自分の日に合う日を事前に申し込んでもらいましたが、意外に「日本の大学生活」のほうに興味を持つ学生が多かったです。学生たちの反応としては同年代の日本人と話す機会をもてたこと、日本語教師という立場ではない日本人であることから自然に知りたがることをどんどん質問したりして、会話を楽しんでいた様子でした。また、大屋さんの丁寧な説明のしかたや、学生の目線に合わせて話す姿なども好感が持てました。また、当校で行われているほかの日本語教師の会話クラスにもアシスタントとして入っていただいておりますが、現在の日本の状況、日本の若者についての話題など学生からの質問にも丁寧に答えてくれています。大屋さんが入ることによりクラスに活気が出てきたようです。</p>		受入れ先担当者のコメント	<p>10日間という短期間でしたが、とてもよくやってくれました。クラスによって学習者人数が2人〜53人と差があり、やりがい部分もあつたかと思いますが、どのクラスもきちんとこなしてくれました。また、コミュニケーション能力もあり、明るく元気ではきはきと話し、とても好感がもてる方でした。各日本語教師が担当している会話クラスに入っていました。当校としても、現役大学生が授業を受け持ってくれたら、ほかの授業にアシスタントとして入ってもらうことによって、学生だけでなく、教師たちにもいい刺激となると。大屋さんがこのミャンマーでの経験を今後いろいろな面で生かしてもらえれば嬉しいです。</p>	
1週間の感想と今後の目標	<p>1週間とても早かったです。慣れない国でトラブルはたくさんありましたがミャンマーはご飯も美味しくてとても過ごしやすくて感じております。生徒さんたちも積極性にもあつたので、真面目で勉強熱心な方が多いように感じます。質問をすればしっかり答えてくださったのでとてもやり易いです。途中で自由募集だからそのレベルの問題に当たったとしても、こう言った問題を直視できる機会はないかなと思うので幸か不幸かですが大切な経験になったと思います。来週も同じような準備をしてみんなが楽しめる授業を作りたいと思います。私の中で慣れも出て来たので、この慣れの良い方向に持っていけるように私含みを入れて授業準備に取り組みたいと思います。大きな目標は、やはり日本での私の授業体験に沿って伝えることです。大きくなりになり難いですが、楽しく授業をして、私が楽しんで授業をするので一人でも多くの人が日本に好印象を持っていただけたらと思います。</p>		1週間の感想と今後の目標	<p>二週目に入り、自分の授業内容は改善しつつ完成したと感じています。1日の終わりが早く、時間があるの次の日の準備が余裕をもって行えることがとても良かったです。実際働くとなると、もっと時間が減ってしまうと思うので、どう時間を短縮して授業準備をするかなど問題になってくると感じました。休みの日曜日、先生や生徒さんが市内を案内してくれたり、充実した休日をご一緒しました。とてもミャンマーの人は暖かく、授業後も、話しかけてくださる方がいたり、とても嬉しかったです。質問のし合いになることが多く、困る質問も多々ありましたが、最後の方は聞かれやすい質問などの答えを用意しておくことで、スムーズな受け答えができたと思うので、その点は成長できたと感じています。短い間でしたが、普通の練習よりずっともっと実践的で、実際に近い体験ができたと思います。今後は、今回学んだことをここで終わりにせず、これからの日常生活や就活に活かすことが一番近い次の目標になりました。しっかりと、学んだことを言葉に残し、また日本語を教える機会があれば、それを軸にして一発目から成功を収めたいです。</p>	

総 評

- ◆氏 名： 大屋 杏奈 (神田外語大学)
- ◆受け入れ先： MOMIJI Japanese Language Centre
- ◆企画テーマ： 日本の魅力を伝え、教育の場を盛り上げる。
- ◆体験期間： 2019年8月8日～2019年8月18日

<感想>

この2週間、初一人での海外生活やインターンシップでの実習をすることができ、とても貴重な経験をしたと思うし、沢山のことを学べたと感じております。最初は30分で終わっていた授業プリントがいつの間にか2時間になりました。頑張っって質問の時間などを設けて引き伸ばしていた時間が、練習していくうちに、しっかりと授業として成り立っていったことがとても嬉しかったです。しかし、万全の準備をしたつもりでも、失敗は多かったです。今後、準備が必要な時はもっと前々から、そして想定外のことがないように、予備の話題なども考えておくことが大事だと学びました。最後の方の授業は、話ばかりになってしまった気もしますが、早口になったり難しい言葉を使いすぎないように気をつけることができましたと思います。やはり、人によってわかる言葉が違ったりレベルが違うことがあり壁になってくると感じたので、それを想定してみんなが楽しめる授業を作れる人間になりたいと思いました。Seichi先生とのクラスは本当に授業をさせていただいたので、良い経験になったと思います。本当の意味で、教材を使って授業準備をしたのは初めてだったので、見てもらいつつ経験できたのは本当に嬉しかったです。事前にToshiのやっていたテーマであったり、Masashi先生に板書のお手伝いをさせていただいたことなどが助けになり出来た事だと感じております。色々な先生方の、授業を見て教わって、とても貴重な2週間でした。ほっとする一方、もうこの授業も出来ないし、生徒さんともお話しできないんだと思うと悲しさが湧いて出てきます。今まで、日本の事情的に候補の一つに過ぎなかった日本語教師が、夢に近づいたと感じました。現実的に考えると、やはり最初からとはいかないのかも知れませんが、将来後悔しないように、きちんと調べて今の気持ちを忘れずに生きていきたいです。

<受け入れ先コメント>

受入れ担当者： 村松 愛 役職： 日本語学校校長 日本語教師

明るくてしっかりした女性で礼儀正しく、とても好感の持てる女性でした。また、事前にある程度の授業準備もしてきていたようですし、日本から視覚教材などもたくさん準備してきてくださっていました。学生にとっては教科書では勉強することができない、生の日本の様子、日本の若者について知れるいい機会となり、喜んでいました。

自分ひとりで任される授業ではいろいろ思い悩むこともあったかと思いますが、毎回楽しそうに授業をしてくれていましたし、学生の評判もとてもよかったです。また、ほかの先生の授業に入ることでいろいろな教え方、それぞれの先生の教え方の特徴などを実際に見て、体験して、いい勉強になったかと思えます。

2週間という短期間でしたが、教えることの楽しさを少しでも知っていただければ、嬉しく思います。この経験が大屋さんにとって、今後の人生の中で役に立つことを願っています。当校にとってもとても有意義なインターン生受け入れとなりました。ありがとうございました。